



聖徳記念絵画館

聖火台

東京2020オリンピック・パラリンピック大会レガシーとして設置。
日本のものづくりの力が結集し、最後は職人の手仕事によって
仕上げられた唯一無二の聖火台。
大会史上初めて、水素が燃料として採用されました。

ギリシャの女神像

1964年東京オリンピック大会の成功を
祈念し設置された壁画。
野見宿禰像と対になっており、
作品名は「栄光」と名づけられています。

東京2020トリビュートトゥ チャンピオンズ

東京2020大会の開催を記念し、メダリストの栄誉を称える銘板。
大会ビクトグラムとあわせて、全競技のメダリストの名前が
刻まれています。外周壁面にずらりと続く圧巻のレガシー。

健康美

長崎にある平和祈念像の作者でも
ある「北村西望」による彫刻作品。

青年像

明治・大正・昭和を通じ、
日本の彫塑界を先導した
芸術家である朝倉文夫による、
1956年の作品。

千駄ヶ谷門 A

空の杜入口

出陣学徒の碑

国立競技場
NATIONAL STADIUM

明治神宮外苑
アイススケート場

波

徹底した写実により、傑作を多く残した
日本彫刻界の重鎮「吉田三郎」の作品。

無題

せせらぎ

自然と調和するスタジアムには、
低木を中心に4万7000本、
130種が植樹され、140メートルの
せせらぎが流れています。

外苑橋
交差点

外苑西通り

東京体育館

炬火台 -きよかだい-

1964年東京オリンピック大会時に、
バックスタンド最上部に聖火が灯された。
今なお、荘厳な佇まいで東京の空を見上げています。

G
青山門

野見宿禰像 -のみのすくねぞう-

1964年東京オリンピック大会の成功を
祈念し、設置され長年、国立競技場の
シンボルとして親しまれてきた。
作品名は「勝利」と名づけられています。

スタジア

旧明治公園敷地内に植えられていた
新宿区指定天然記念物スタジア
江戸時代からこの街を見守っており、
樹齢350年前後と推定されています。

秩父宮記念ギャラリー

「スポーツの宮様」として日本のスポーツ
振興に尽力された、故・秩父宮雍仁親王
(1902-1953)の遺品のうちスポーツに
関する愛用の、品々を展示しています。

円盤投げ像

1964年にローマ国立博物館より
取り寄せたミロンの実物作品を
型抜した像です。

槍投げ像

1930年 第15回帝展の
特選となった作品。
大正・昭和に活躍した
雨宮治郎の傑作。

御者像

国立競技場
NATIONAL STADIUM

EV

仙寿院
交差点

デッキ下



勝利の場

友愛

動態

躍動

躍進

よろこび

人と太陽

EV

勝利

より高く

飛天

より速く

壁画

宮本三郎による「より高く」など1964年の
東京オリンピック開催に向けて、日本の芸術を
世界に示すため、日本の技術を駆使して
製作された壁画の数々をご覧ください。

C
中央門

優勝者銘板
1991

優勝者銘板
1967

デッキ下

東京オリンピック大会優勝者銘板

1964年東京オリンピック大会の優勝者をたたえ、
1965年6月23日に設置。
徳島県産の黒美影石に彫刻されています。

軒庇 (のきびさし)

47都道府県産の木材を使用した軒庇は、
北側から南側にかけて、方位に応じて、
各都道府県産の木材が並びます。

JAPAN NATIONAL STADIUM
WALKING MAP